

WORLD ROWING U23 CHAMPIONSHIPS 2014 REPORT 5 (7/21)

8 : 30 バレーゼ湖に向け出発

昨日の懸案事項であったシャトルバスは、時間には既に2台待機していてくれたため、8 : 30のバスでバレーゼ湖にスムーズに向かうことができた。この日は素晴らしい天気で、途中の高速道路からもアルプスの山々をきれいに見ることができた。



シャトルバスの車窓からもアルプスの山々を見ることができた。

9:05 バレーゼ湖に到着

小形団長と齋藤マネージャーが合流したので、バレーゼ湖に到着後、練習前に全体ミーティングを行った。

選手たちは湖に映えるアルプスの美しい姿に感動しながら水上へと繰り出していった。そしてアルプスの山々に見守られながら2日後に迫った大会に向け、調子が上がってきていることがはっきりとわかる良いパフォーマンスを披露してくれた。



全体ミーティングの様子



この日はアルプスの山々をはっきりとみることができる素晴らしい天気であった。



素晴らしい景色の水上へ繰り出そうとするBLW2xクルーのB川本選手(日本体育大)とS富田選手(明治大)。それを見守る梶田コーチと齋藤マネージャー。

午前の練習を終え、BLM4-クルー以外はホテルに戻り午後はフリーとなった。BLM4-クルーと一部スタッフはバレーゼ湖に残り昼食をとり午後の練習とプレチームマネージャーミーティングに臨むことになったが、午前中の天候が嘘のように荒れる兆候が見られたため、しばらく水上練習が中止となった。

その後水上練習が可能になり、BLM4-クルーは予定通り練習することができた。



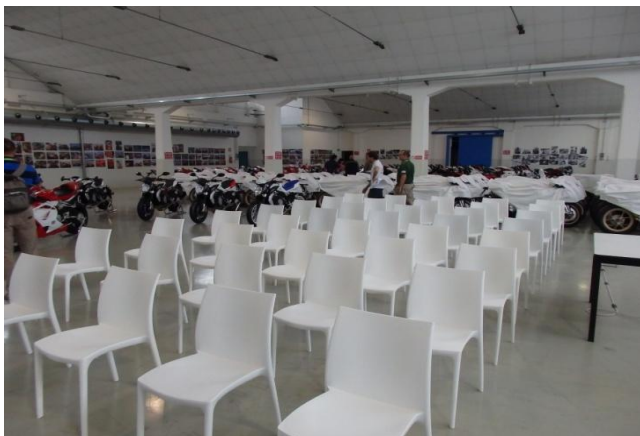
会場内のレストランで昼食を選ぶBLM4-佐藤選手(日本大)



午後はしばらく水上へ出ることが禁じられた

15:00 プレチームマネージャーミーティング

会場はバレーゼ湖畔のクラブチームの拠点からさらに西へ向かった先であるが、そこはバイクの工場であった。ブラジルのチームマネージャーと共に工場の関係者に問いかけながら進むと、このバイク工場の一角を借りてミーティングが行われることがわかった。とても意外な印象を受けたが、町の大きな企業が大会の成功に向け協力を惜しまない姿勢を示している、つまり町を上げて大会成功にご尽力いただいている印象を受けた。



プレチームマネージャーミーティングの会場は、バイク工場の一角であった

プレチームマネージャーミーティングでは、

①オムニングセレモニーの輸送について

・日本は既に報告済みだと褒められた。

②タブレット端末の貸出について

・レース記録やレーススケジュールの変更についてお知らせしてもらえるものである。

・各国2台まで貸出可である。

③天候について

・大会初日の水曜日の午後に荒れる予報であるので、明日のチームマネージャーミーティングの際に改めてスケジュール変更等について検討する。

④その他

・藻が多いのでカットする手配をした。

・選手控え所について改めて検討する。

・明日のチームマネージャーミーティングは15:00~行う(予定では16:00~であったので変更事項)。

ミーティングは終始穏やかな雰囲気の中行われ、一つ一つの質問に対してゆっくり丁寧に説明されていた。

夕方ホテルに戻り、スタッフでこの情報を共有化し、明日以降のスケジュール変更の確認を行った。

この日からはホテルは大盛況。ここまで確認できた日本、ベルギー、中国に加え、ロシア、エストニア、トルコ、ノルウェー、スロバニア、ルーマニア、イランなどの国々が確認できた。

明日からは始発とはいえシャトルバスに乗り遅れないよう早めに行動することを周知した。